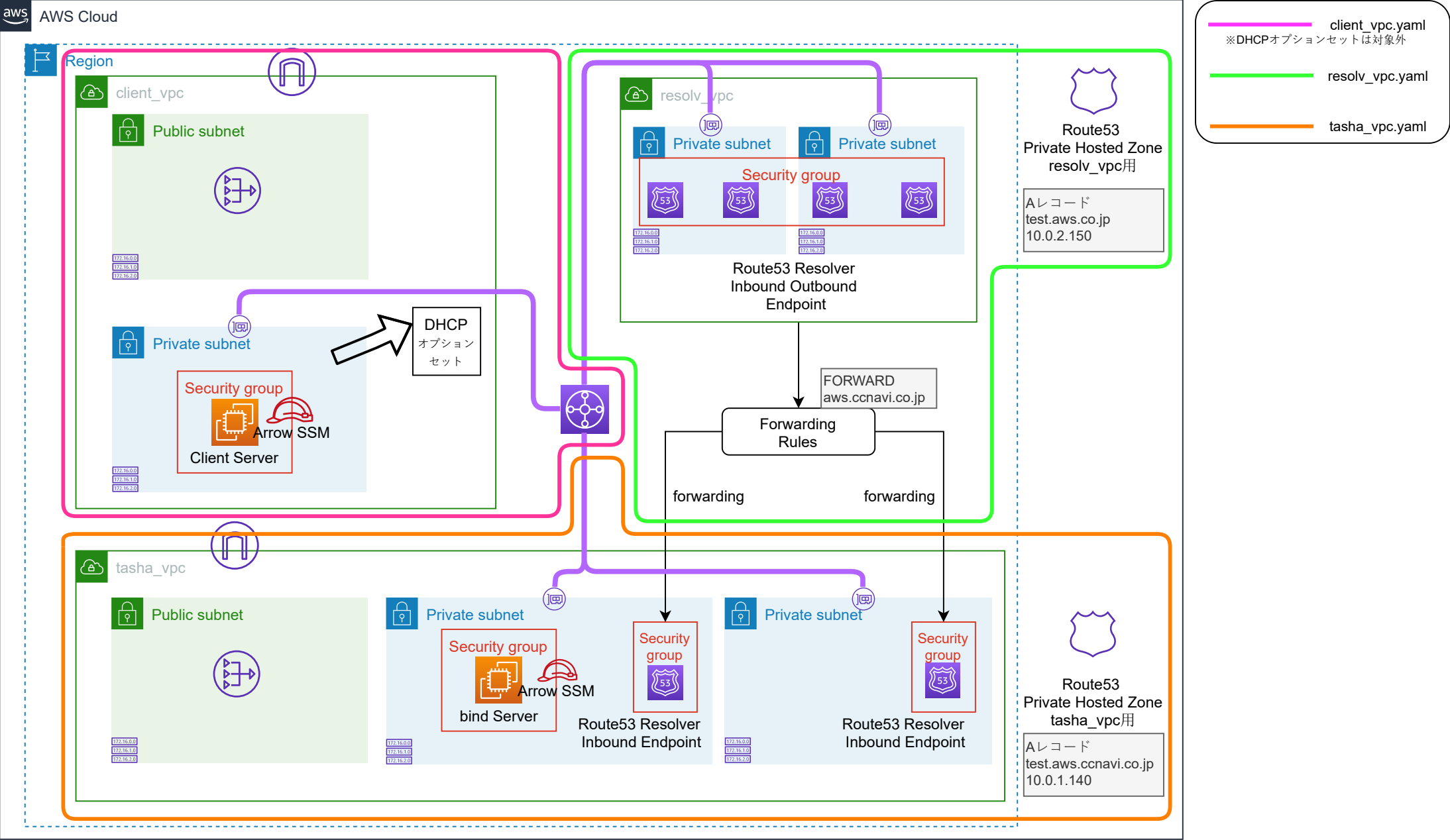


CloudFormation作成リソース

① 現行のbindサーバと同じ機能を提供する場合11.12.13

エンドポイント名を解決できない

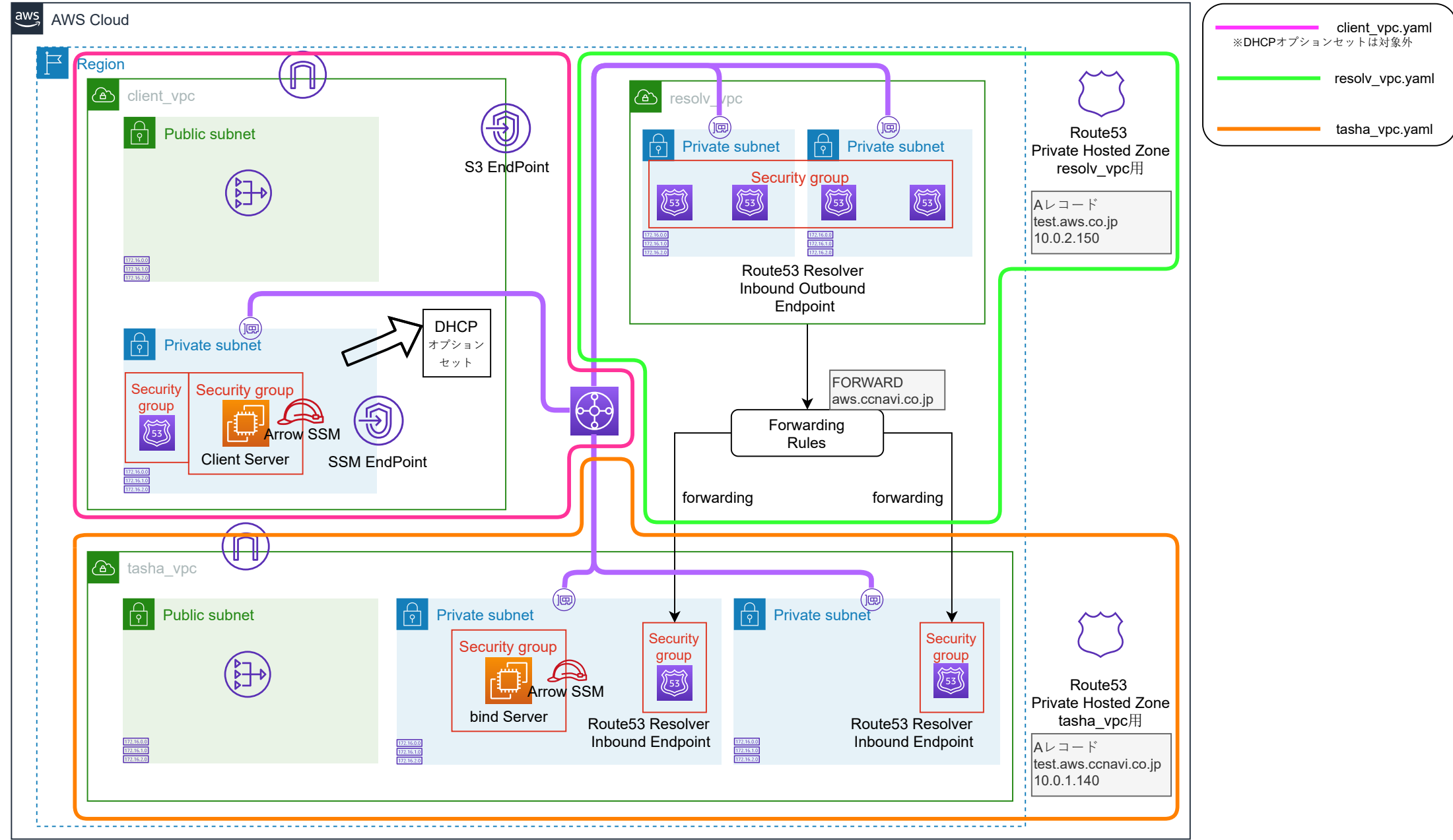


課題
全VPCがresolv_vpcのRoute53で名前解決するため、各々の立てたEndpointのipを名前解決できない。

CloudFormation作成リソース

②各VPC内に立てたEndpointの名前解決を行う ver 21.22.23

エンドポイント名は解決可能。料金高い

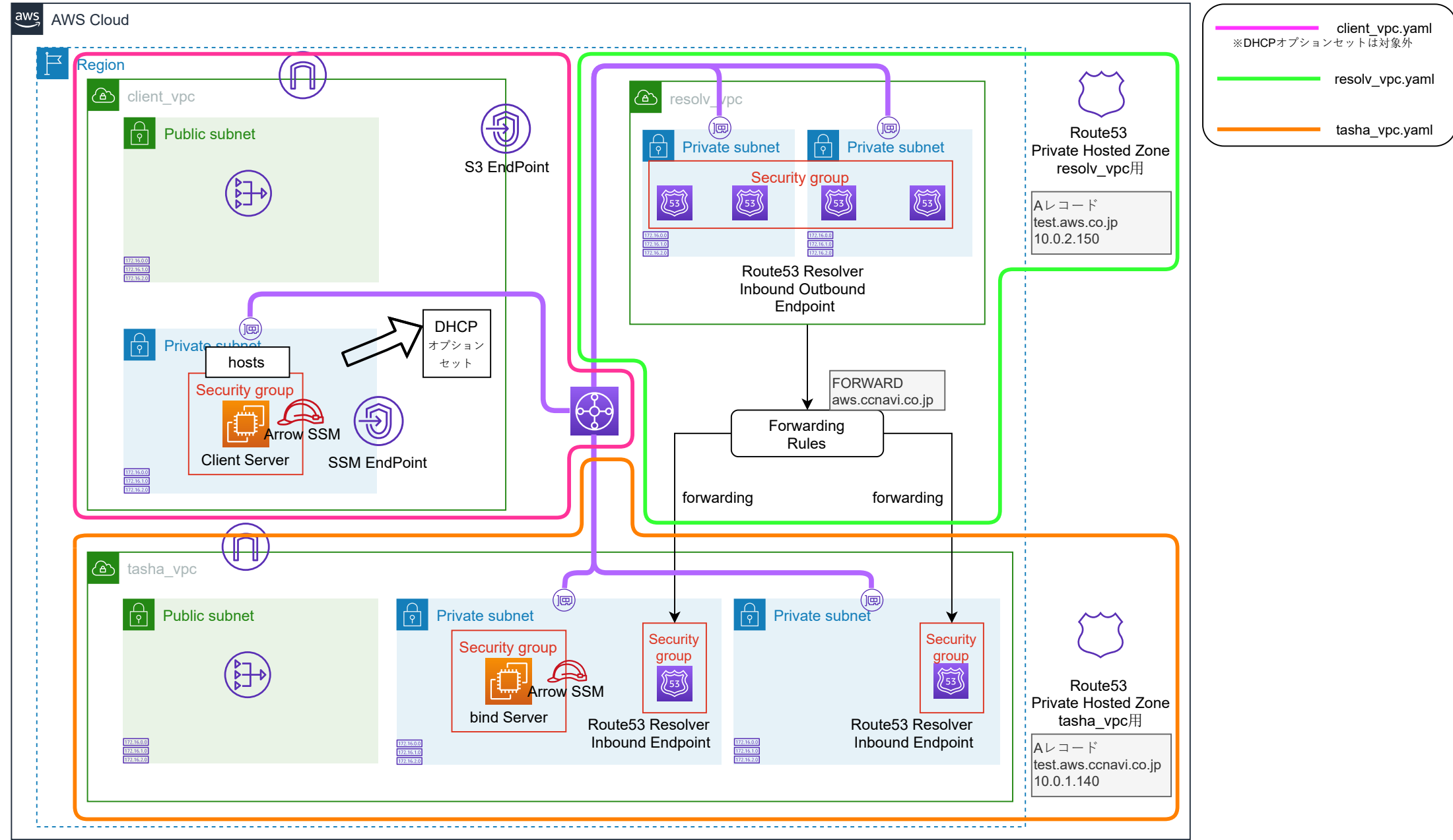


課題
Endpoint多すぎ、高い

CloudFormation作成リソース

③各Serverのhostsで解決 31.32.33

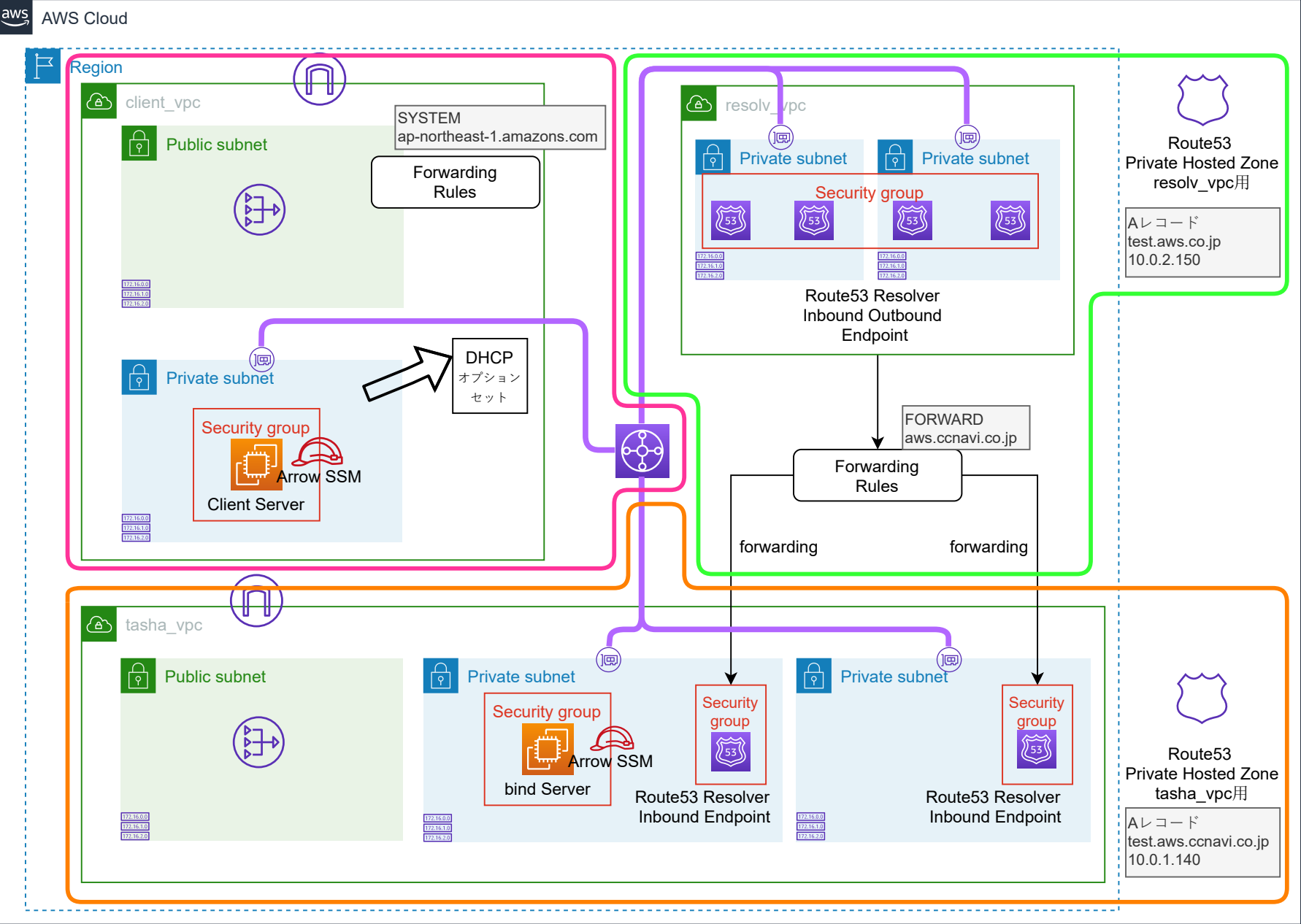
エンドポイント名は解決可能。bindと同じ対応が必要
→わざわざ立て替える意味ある？



CloudFormation作成リソース

④各VPCにForwardingルールを作ってみる 41.42.43

一見いけそうだが
エンドポイント名を解決できない



AWS側に確認したいこと（AWS共通基盤アカウントから問い合わせとく）

Endpointは、作成時にプライベートDNSに登録される名前とは別に、パブリックにもVPC IDとかを含んだ形の名前で登録されている。（確認済み）

↑このパブリックDNSに登録された名前を使えないか？

Hands Onを通して感じたこと

GUIの操作や考え方は非常にむずかしい。

ユーザ側がレコードの保守のみ考えることができるように設計されているため、DNSの連携等DNS自体のあり方を整理するのが難しい。

レコードの管理がIaCで可能（CloudFormation）これは最高。

インフラの詳細設計も、IaCのソースコードをレビューすれば良くなって、そのソースをAWS側にそのまま読み込ませるため

レビュー内容通りの設定が反映できる。